

報 告 書

2017 (公財) 全国高体連卓球専門部 ベトナム遠征

2017/7/13~20



主催 (公財) 全国高等学校体育連盟卓球専門部

大会スナップ





平成29年度全国高体連卓球専門部海外遠征

1. 大会名 2017 ベトナム ゴールデンラケット大会
2. 大会期日 平成29年7月15日(土)～7月18日(火)
 - *集合7月13日(木) 8時30分 「関西空港国際線出発カウンター」 集合
 - 7月12日(水)前泊 17時00分 (希望者のみ)
 - 関西エアポートワシントンホテル
 - *解散7月20日(木) 8時00分 「関西空港」到着後
3. 会 場 「The Stadium of Nguyen Du Culture & Sport Center」
116 Nguyen Du street, Ben Thanh Ward, District 1, Ho Chi Minh City
- 4 宿 泊 先 「Hotel SAI GON STAR」
114 Nguyen Thi Minh Khai Q1 Hochiminh city
<http://www.saigonstarhotel.com.vn/index.php>
5. 日 程

1	7/13(木)	8:30 10:30 13:45	集合「関西空港」 結団式 関西空港発 VN321 便 ホーチミン空港着
2	7/14(金)		練習
3 ↓ 6	7/15(土) ↓ 18(火)		大会 種目 団体・シングルス
7	7/19(水)		移動など
8	7/20(木)	00:20 7:20	ホーチミン空港発 VN320 便 関西空港着 解団式 解散

6. 役員・選手名簿

役 職	氏 名	所 属
団 長	田中 正一	(公財) 全国高体連卓球専門部
男子監督	藤井 健	(公財) 全国高体連卓球専門部
女子監督	瓜生 勝己	福井県：福井商業高等学校
男子選手	吉田 海斗 渡井丈人士 吉田 俊暢 岩永 宣久	福岡県：希望が丘高等学校 静岡県：静岡学園高等学校 岩手県：専大北上高等学校 福島県：帝京安積高等学校
女子選手	梅村 優香 三村 優果 岡崎 日和 青木 千佳	大阪府：四天王寺高等学校 高知県：明德義塾高等学校 埼玉県：川口総合高等学校 福井県：福井商業高等学校

男子団体 日本 予選Aリーグ4位 予選敗退

女子団体 日本 予選Bリーグ1位 決勝トーナメント 準優勝

男子T 予選リーグ(上位2チームが決勝トーナメントへ)

No	GROUP A	1	2	3	4	5	6	POINT	POSITION
1	INDIA MEN		1-3	1-3	3-0	3-1	3-1	8(4/4)	3
2	JAPAN MEN	3-1		1-3	3-0	3-0	0-3	8(3/4)	4
3	KOREA MEN A	3-1	3-1		3-0	3-0	3-0	10	1
4	CEMENT MEN B	0-3	0-3	0-3		3-0	0-3	6	5
5	VINH LONG	1-3	0-3	0-3	0-3		0-3	5	6
6	TTHLTTQG MEN	1-3	3-0	0-3	3-0	3-0		8(4/3)	2

No	GROUP B	1	2	3	4	5	POINT	POSITION
1	HONGKONG MEN		1-3	0-3	2-3	0-3	4	5
2	KOREA MEN B	3-1		3-0	3-1	3-0	8	1
3	THAILAND MEN	3-0	0-3		3-1	3-0	7	2
4	CEMENT MEN A	3-2	1-3	1-3		3-0	6	3
5	HOA LU MEN	3-0	0-3	0-3	0-3		5	4

男子決勝トーナメント

準決勝

KOREA MEN A 3-2 THAILAND MEN

KOREA MEN B 3-1 TTHLTTQG MEN1

決勝

KOREA MEN A 3-2 KOREA MEN B

女子T 予選リーグ(上位2チームが決勝トーナメントへ)

No	GROUP A	1	2	3	4	5	POINT	POSITION
1	INDIA WOMEN		1-3	3-0	2-3	3-1	6	3
2	HONGKONG WOMEN B	3-1		3-1	2-3	3-2	7	2
3	CEMENT WOMEN	0-3	1-3		0-3	0-3	4	5
4	PETROSETCO HOCHIMINH CITY	3-2	3-2	3-0		3-1	8	1
5	TTHLTTQG WOMEN	1-3	2-3	3-0	1-3		5	4

No	GROUP B	1	2	3	4	5	POINT	POSITION
1	HONGKONG WOMEN A		1-3	3-0	2-3	3-0	6	3
2	JAPAN WOMEN	3-1		3-0	3-2	3-0	8	1
3	TAIWAN	0-3	0-3		0-3	3-1	5	4
4	THAILAND WOMEN	3-2	2-3	3-0		3-0	7	2
5	HOA LU WOMEN	0-3	0-3	1-3	0-3		4	5

女子決勝トーナメント

準決勝

THAILAND WOMEN 3-2 PETROSETCO HOCHIMINH CITY

準決勝			
	JAPAN WOMEN	3-1	HONGKONG WOMEN B
1	MIMURA YUKA	3-1	LEE KA YEE KARISA
2	UMEMURA YUKA	3-0	WONG CHIN YAU
3	OKAZAKI HIYORI	1-3	FUNG WAI CHU
4	UMEMURA YUKA	3-1	LEE KA YEE KARISA

決勝			
	JAPAN WOMEN	1-3	THAILAND WOMEN
1	UMEMURA YUKA	3-2	KOMWONG NANTHANA
2	MIMURA YUKA	0-3	KHETKHUAN TAMOLWAN
3	AOKI CHIKA	0-3	PARANANG ORAWAN
4	UMEMURA YUKA	1-3	KHETKHUAN TAMOLWAN

男子S 予選リーグ(上位2名が決勝トーナメントへ)

No	GROUP A	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	NGUYEN ANH TU	/	1-3	2-3	0-3	1-3	4	5
2	NGUYEN DUC TUAN	3-1	/	3-2	3-1	2-3	7	2
3	LAM SIU HANG	3-2	2-3	/	3-2	3-0	7	1
4	IWANAGA NARIHISA	3-0	1-3	2-3	/	2-3	5	4
5	CHOI DEOK HWA	3-1	3-2	0-3	3-2	/	7	3

No	GROUP B	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	DINH QUANG LINH	/	0-3	0-3	0-3	0-3	4	5
2	SOURAV SAHA	3-0	/	1-3	1-3	3-1	6	3
3	YOUN JOO HYUN	3-0	3-1	/	0-3	3-2	7	2
4	WISUTMAYTHANGKON SUPANUT	3-0	3-1	3-0	/	3-2	8	1
5	NGUYEN XUAN HIEN	3-0	1-3	2-3	2-3	/	5	4

No	GROUP C	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	LI HON MING	/	3-0	1-3	2-3	3-0	6	3
2	KHAU VU NGOC LAN	0-3	/	0-3	0-3	3-0	5	4
3	YOSHIDA KAITO	3-1	3-0	/	0-3	3-0	7	2
4	KANG DONG SOO	3-2	3-0	3-0	/	3-0	8	1
5	PHAM LE HOA	0-3	0-3	0-3	0-3	/	4	5

No	GROUP D	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	NGUYEN VAN NGOC	/	3-1	2-3	3-0	3-0	7	2
2	UTKARSH GUPTA	1-3	/	1-3	3-2	3-0	6	3
3	PASSARA PATTARATORN	3-2	3-1	/	3-1	3-0	8	1
4	DANG TRAN PHU	0-3	2-3	1-3	/	3-0	5	4
5	NGUYEN PHI VU	0-3	0-3	0-3	0-3	/	4	5

No	GROUP E	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	TRAN TUAN QUYNH	/	3-0	2-3	3-1	3-0	7	1
2	NGUYEN NHU THANH NHAN	0-3	/	0-3	0-3	1-3	4	5
3	SUDHANSHU GROVER	3-2	3-0	/	1-3	3-0	7	3
4	KWAN MAN HO	1-3	3-0	3-1	/	3-1	7	2
5	YOSHIDA TOSHINAGA	0-3	3-1	0-3	1-3	/	5	4

No	GROUP F	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	WONGSIRI NIKOM	/	0-3	0-3	0-3	0-3	4	5
2	DOAN BA TUAN ANH	3-0	/	3-0	3-1	1-3	7	2
3	NGUYEN TIEN DANG VU	3-0	0-3	/	3-1	0-3	6	3
4	CHONG MAURICE KAI NING	3-0	1-3	1-3	/	0-3	5	4
5	SEO HYUN DEOK	3-0	3-1	3-0	3-0	/	8	1

No	GROUP G	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	LE DINH DUY	/	3-0	1-3	1-3	1-3	5	3
2	CHENG PAK HEI	0-3	/	1-3	1-3	3-1	5	5
3	SOUGATA SARKAR	3-1	3-1	/	3-2	3-1	8	1
4	CHEON MIN HYUCK	3-1	3-1	2-3	/	3-0	7	2
5	VU QUANG HIEN	3-1	1-3	1-3	0-3	/	5	4

No	GROUP H	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	TANG PHAM TRONG HIEU	/	1-3	0-3	0-3	0-3	4	5
2	WATAI TAKETOSHI	3-1	/	1-3	3-2	3-0	7	2
3	PARK CHAN HYEOK	3-0	3-1	/	3-0	3-0	8	1
4	TANVIRYAVECHAKUL PADASAK	3-0	2-3	0-3	/	3-0	6	3
5	NGUYEN HOANG CHUNG	3-0	0-3	0-3	0-3	/	5	4

女子S 予選リーグ(上位2名が決勝トーナメントへ)

No	GROUP A	1	2	3	4	POINT	RANK
1	NG WING NAM	/	3-1	3-0	3-0	6	1
2	KHETKHUAN TAMOLWAN	1-3	/	3-1	2-3	4	3
3	DINH THI HANG	0-3	1-3	/	0-3	3	4
4	NGUYEN KHOA DIEU KHANH	0-3	3-2	3-0	/	5	2

No	GROUP B	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	NGUYEN THI NGA	/	1-3	3-1	2-3	3-2	6	4
2	ANKITA DAS	3-1	/	3-0	2-3	1-3	6	3
3	MAI TU UYEN	1-3	0-3	/	1-3	0-3	4	5
4	LAM YEE LOK	3-2	3-2	3-1	/	0-3	7	2
5	AOKI CHIKA	2-3	3-1	3-0	3-0	/	7	1

No	GROUP C	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	LEE KA YEE KARISA	/	3-1	0-3	3-1	1-3	6	3
2	WU, YU LING	1-3	/	0-3	3-0	0-3	5	4
3	PARANANG ORAWAN	3-0	3-0	/	3-0	3-2	8	1
4	TRAN MINH ANH	1-3	0-3	0-3	/	0-3	4	5
5	LIU YING	3-1	3-0	2-3	3-0	/	7	2

No	GROUP D	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	HO PHUONG UYEN	/	2-3	3-0	0-3	3-2	6	3
2	REETH RISHYA TENNISON	3-2	/	3-0	0-3	3-0	7	2
3	CHAU WING SZE	0-3	0-3	/	0-3	0-3	4	5
4	UMEMURA YUKA	3-0	3-0	3-0	/	3-0	8	1
5	DINH THI HUE	2-3	0-3	3-0	0-3	/	5	4

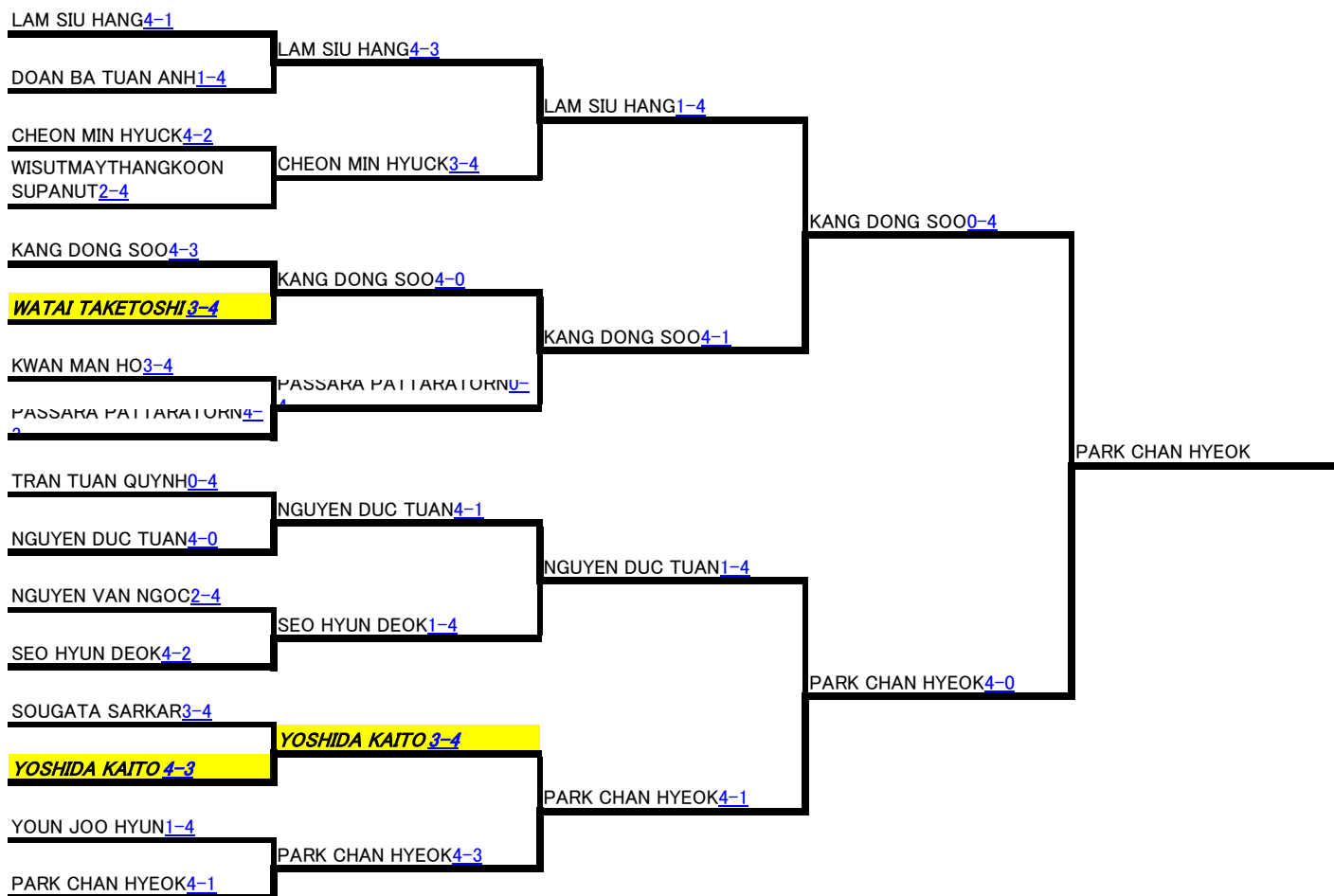
No	GROUP E	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	MAI HOANG MY TRANG	/	3-0	1-3	3-0	3-1	7	1
2	NIKHAT BANU	0-3	/	3-2	3-0	3-0	7	3
3	LIU QI	3-1	2-3	/	3-0	3-1	7	2
4	SAWETTABUT JINNIPA	0-3	0-3	0-3	/	0-3	4	5
5	NGUYEN THI XUAN MAI	1-3	0-3	1-3	3-0	/	5	4

No	GROUP F	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	NGUYEN NGOC YEN NHI	/	1-3	0-3	0-3	3-0	5	4
2	WONG CHIN YAU	3-1	/	0-3	3-0	3-1	7	2
3	MIMURA YUKA	3-0	3-0	/	3-1	3-1	8	1
4	TSAI, PEI RUNG	3-0	0-3	1-3	/	3-1	6	3
5	TRAN NGOC HAN	0-3	1-3	1-3	1-3	/	4	5

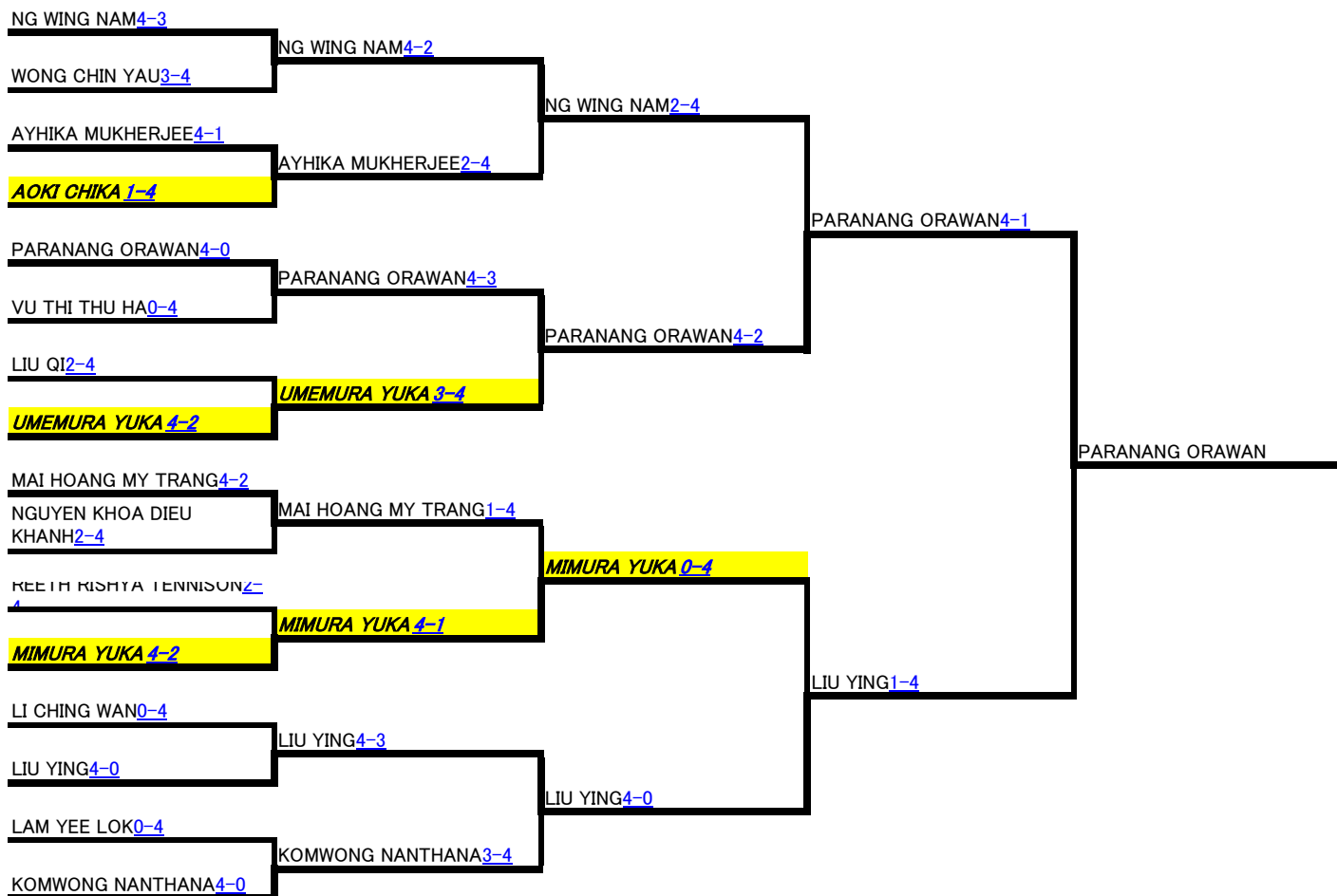
No	GROUP G	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	LI CHING WAN	/	3-2	3-0	3-1	3-0	8	1
2	AYHIKA MUKHERJEE	2-3	/	3-1	3-1	3-0	7	2
3	LEE CHUNG YAN	0-3	1-3	/	1-3	0-3	4	5
4	OKAZAKI HIYORI	1-3	1-3	3-1	/	3-0	6	3
5	VU THI HA	0-3	0-3	3-0	0-3	/	5	4

No	GROUP H	1	2	3	4	5	POINT	RANK
1	KOMWONG NANTHANA	/	3-1	3-0	3-1	3-1	8	1
2	VU THI THU HA	1-3	/	3-1	2-3	3-1	6	2
3	NGUYEN BACH THANH THU	0-3	1-3	/	3-1	3-0	6	3
4	FUNG WAI CHU	1-3	3-2	1-3	/	3-0	6	4
5	WU, I CHI	1-3	1-3	0-3	0-3	/	4	5

男子シングルス決勝トーナメント



女子シングルス決勝トーナメント



2017ベトナムゴールデンラケット大会に参加して

団長 全国高体連卓球専門部 理事 田中 正一

今年度も多くの方々にご理解とご協力を賜り、ベトナムゴールデンラケット大会に参加することができました。関係していただきました全ての方々に感謝申し上げます。

また、現地TAKE Co LTD 富岡武侯様には並々ならぬご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

男子選手について。大会前半は外国選手の力のあるボールに押され気味でした。しかし試合が進むにつれて対応出来るようになり、大会後半には強さが際立っていた韓国選手ともほぼ互角の試合ができていました。

女子選手について。大会序盤、各国エースを破るなどの活躍が随所に見られました。徐々に外国選手が日本選手の異質プレーに慣れ、簡単に得点することができなくなりました。そんな中での上位進出は立派な成績だと思います。

外国選手はやはり両ハンドの力強さが男女とも目を引きます。日本選手はサーブプレシーブや台上技術など、繊細なプレーの重要性を再認識し、今後の活躍につなげて欲しいと思いました。

粘りがありガッツあふれる日本選手のプレーは会場で人気があり、拍手していただくシーンも数多くありました。選手は良い経験ができたと思います。

私自身も外国選手と日本選手との比較をすることができ、多くを学ぶことができました。このような体験をさせていただき、感謝申し上げます。

最後になりましたが、瓜生先生・藤井先生のお力添えにより無事に大会引率を終えることができたことを、心より感謝を申し上げます。

男子監督 全国高体連卓球専門部 理事 藤井 健

今回は海外遠征に参加させていただき本当にありがとうございました。私は初めての海外遠征ということでわからないことが多かったのですが、いろんな皆様のご協力によりなんとか責任を果たすことができました。特に地元のスタッフとしても活躍された富岡さんにはいろんな面でサポートをしていただき不自由なく試合を行うことができました。本当に感謝いたします。

試合は初日から団体戦が行われ、予選リーグ2勝2敗で予選リーグ敗退になりました。2試合目に力のあるインドに3-1で勝利し予選通過が見えていたのですが、3試合目の地元ベトナムにまさかの0-3で負けたことで三つ巴での敗退が決まってしまいました。3日目からのシングルスでは渡井と吉田海がそれぞれ予選リーグ2位で通過しました。渡井はトーナメント1回戦で準優勝した韓国のカット型の選手に惜しくも3-4で敗れベスト16、吉田も準々決勝で優勝した韓国の選手に3-4で惜敗してベスト8という結果でした。

今回の試合では日本選手は各国のエース級の格上の選手にも五分の試合をするなどかなり善戦したと思います。良いプレイに観客が大きな声援をおくってもらうこともしばしばでした。しかしどの選手にも共通していえるのが終盤逆転されるケースです。勝てる試合も多くありましたが結局勝てない、というシーンが多くありました。原因としては、最後に得点する武器や攻めのパターンを持っていないこと、大事なところで凡ミスがでてしまうこと、勝ちを意識して堅くなり自分のプレイができなくなることなど、技術的課題とメンタル面の両方です。他の国はほとんどがシニアの選手で試合運びがとても巧みです。術中にはまる展開もあり日本選手の若さ、未熟さが出てしまいます。これから上を目指す選手としてもっと学習してもらいたいと思います。

最後になりましたが、出発の段取りから準備など、すべてお世話いただいた田中先生、多くのアドバイスをいただいた女子監督の瓜生先生をはじめ、このような経験と勉強の機会を与えていただいた全国高体連卓球専門部の方々にこの場をお借りし感謝申し上げます。

女子監督 福井商業高校 瓜生 勝己

昨年に引き続き女子監督として参加させていただきありがとうございました。2度目のベトナム遠征ではありましたが、やはり同行していただいた田中正一先生、藤井健先生のご指導、ご支援をいただくことで無事に遠征を終えることができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

ベトナムでは、昨年同様卓球メーカーの代理店をされている富岡さんや柔道整復師をされている福地さんに終日お世話になり何不自由なく大会に参加することができました。

大会には、昨年とは違い男女各1チーム(4人)で参加しました。団体戦も個人戦も予選リーグを行い上位2チーム(個人戦は2人)が決勝トーナメント(団体はベスト4、個人はベスト16)に進出し優勝を争います。大会に出場していた選手を見ると昨年よりもレベルが高いと感じました。特に香港やタイは世界ランク60~70位台の選手が含まれており充実したメンバーで参加していました。

団体戦では、香港Aとタイが同リーグとなっており決勝トーナメント進出が困難な状況ではありましたが、梅村・三村の3年生コンビが大車輪の活躍で予選リーグ全勝で決勝トーナメントに進むことができました。梅村は、香港戦もタイ戦も2得点をたたき出し、まさに日本チームの大黒柱として活躍してくれました。三村はタイ戦のラストでゲームオールジュースの試合を勝利してくれました。決勝トーナメント準決勝は香港Bに3-1で勝利し、決勝は予選リーグで3-2で勝利したタイとの再戦となりました。タイの選手が梅村や三村のバック面のボールにも慣れてきている感があったので厳しい戦いになることは予想され、実際の試合でも残念ながら梅村の1点に留まり1-3で敗れました。しかし、苦しい予選リーグを全員で勝ち抜き決勝に進出したことは大健闘であったと思います。

個人戦では、4人中3人が決勝トーナメントに進みました。結果はベスト16が1人、ベスト8が1人、3位入賞が1人でした。梅村は準々決勝で優勝したタイの左の選手に惜敗。三村は準々決勝でベトナムのエースに快勝しましたが、準決勝ではベトナムの中国人選手のカットを打ち切れずに敗れました。

大会を通じて感じたことは、昨年同様参加選手のほとんどが両面裏ソフトの選手の中で、日本選手のバックの表ソフトのプレーが効果的であったこと。逆に両面裏ソフトの選手は、相手のパワーに押される場面があったことでした。しかし、表ソフトのボールに相手に対応してきた場合の戦術、また相手に表ソフトのボールを慣れさせない工夫が必要であると感じました。

今大会中、監督として選手に対し、試合はもちろんだが日本の高校生の代表であるという自覚を持って行動すること、何かの縁で4人が選ばれ期間限定のチームを組むことになったのだからチームワークよく戦うこと、インターハイ前なので体調を崩すことなくベトナムの経験をインターハイで生かすようにすることを伝えました。今、私はインターハイを終えてこの原稿を書いています。選手はベトナムでも自覚を持って頑張ってくれましたが、インターハイでは梅村(四天王寺)は学校対抗・シングルス二冠王とダブルス3位、三村(明德義塾)はダブルス優勝と学校対抗2位、岡崎(川口総合)はシングルス3位、青木(福井商業)はシングルスベスト16という好成績を上げてくれたことがとてもうれしいです。選手達が今後も今回の経験を生かしてさらに活躍することを期待するとともに応援したいと思います。

最後に、このような貴重な経験をさせていただいた全国高体連卓球専門部の先生方に感謝申し上げ報告書と致します。本当にありがとうございました。

2017ベトナムゴールデンラケット大会に参加して

希望が丘 吉田 海斗

今回の大会で、競った場面でのポイントの取り方や、1球のチャンスをいかに大事にできるかというのを学んだ。団体でもシングルスでも、競り合いをものにできなかった。特にリードしている時のボール。それまで何をして点を取り、取られていたのか、もっと考えて先を読めるようにならなければならない。戦術面での頭の使い方は今回の試合で良くなった。サーブの組み立てと打つボールのコース取り。上の方の選手は競った場面ではアップサーブかナックルが多い。自分から仕掛けられるからだ。自分もそれを使えた。コースの重要性も学んだ。自分はきれいにコースを打ち分けてしまい、両ハンドを振られる展開が所々あった。技術面の課題としては早い打球点でのフォアハンド連打。一本打つと下がってしまいミスも増える。ストップに対してもっと積極的に仕掛けられるようにならなければならない。今回経験したことを、インターハイに活かして、良い成績に結びつけたいと思う。

静岡学園 渡井 丈人士

今回の試合を通して自分の意識が変わりました。特に日本人では決まるボールや、繋いでくるボールも狙われたりとなかなか受けられないボールが多く、対応するのがとても大変でしたが、戻りの意識や回転への意識が高まりました。海外の選手の特徴や戦術など学ぶことが沢山あり、また今の自分がどこまで通用するのかを知ることが出来ました。今大会で自分の課題を知り、大会の中で成長したと思います。

負けている状態でのメンタルや、戦術変更をいつもは焦りがちなところを冷静に相手と駆け引きをして挽回することが出来ました。いつもは大事な場面で消極的にプレーしてしまうところを積極的に強気でプレーをして、戦術のひとつひとつの選択が勝ちに繋がったと思います。今大会を踏まえてとても自信のつく試合になり、去年よりもいい結果で終わることが出来ました。結果としてはまだまだですがインターハイへ繋がるいい試合になりました。

専大北上 吉田 俊暢

今回のゴールデンラケット大会ではたくさん学ぶ事が多かったです。よかった点は自分のバックカットで相手にネットミスさせる事が多かった、そしてナックルうまく使えて得点する事が出来ていた。悪かった点はカットが浅く、高くもなってしまうところでした。相手の強打に対して下がりすぎてしまっていた。もっと前でプレーしていく意識が必要だった。今回の相手はカットが、浅くなると強打されるし変化をつけてもあまりミスをしてくれなかったツツキなども少ないので打つボールも少なかつたし打てるボールがあっても見逃してしまっていてそこから失点をしてしまっていた。もっと強気のプレーをしていかないとこのレベルの人達には勝てないと思った。強い選手は競り合いで思いきってプレーしているので自分もそうしていきたいです。今回この大会に出場させていただきとても良い経験になりました。今回学んだ事を活かして今後もっと活躍できる選手になりたいです。

帝京安積 岩永 宣久

今回の試合で学んだ事はいくつかありました。1つ目は、サーブです。強い選手はレシーブをチキータしてくる事が多かったです。3球目を攻めるために相手に攻めさせないようサーブを工夫しなければいけません。効いたサーブは下回転のロングサーブです。早いサーブは打たれてしまいましたが、下回転のロングサーブは相手が持ち上げるだけになり、3球目をカウンターで攻めることが出来ました。また、逆回転のサーブを混ぜて出すと入れるチキータが多くなり攻めていけました。2つ目は、試合の進め方です。連続得点をしてリードしていても、相手に合わせてしまい逆転されることが何度かありました。強い選手は自分からしかけにいき流れをつかんでいました。セット場面でも自分から攻めていっていました。相手に合わせるのではなく、どんな場面でも自分からしかけられるようにしたいです。今回学んだことを生かして、インターハイで結果を残したいです。

今回のベトナム遠征は、試合数が多く夜遅くまで試合があったので体力的にも精神的にもきつかったです。でも、インターハイで勝ち上がっていくと、このようなことは当たり前のことなので、インターハイ前にこのような経験ができたことは大変良かったと思います。

大会では、世界ランキング61位や76位の選手に勝つことができ、とても良い経験ができたと思います。ですが、初めての対戦では通用した変化や戦術が2度目の対戦では、相手に慣れられてしまい苦戦を強いられました。今後の課題としては、相手に慣れさせない工夫と今よりも多くの戦術や得点パターンを身につけなければいけないと思いました。また、チャンスボールの打ちミスも多かったように思います。やはり、チャンスだと思って焦ってしまって力んでミスしてしまったのだと思います。このような大会に出てくる選手は、守備も上手いので余計に焦ってしまったのだと思います。チャンスボールだからこそ、落ち着いて自信を持って打つことが大事だと思いました。

今回のベトナムの大会で、たくさんの課題が見つかったのでこれからの練習で取り組むと共に、インターハイに向けてしっかりと調整して良い成績が残せるように頑張りたいと思います。

今回初めてベトナム遠征に参加させていただきましたが、インターハイ前にレベルの高い海外の選手とたくさん試合ができ大変良い経験ができました。また、選ばれた4人でチームを組むこともベトナムにいる間だけなので一週間を大切にしようと思いましたが、本当にこのメンバーでチームが組めて良かったです。

私は試合の競った場面や団体戦の大事な場面で勝利を逃してしまうことが多いのですが、今回は私が負けて日本が負けるのは絶対にはイヤだと思ひ、タイ戦のラストはゲームオールデュースになりましたが、緊張する中で何とか勝利することができチームに貢献できて良かったです。

個人戦は、攻撃選手に対しては相手のボールを利用しながら、できるだけ自分から攻めていくということができたので良かったです。カット選手には回転を見て粘ることが必要なのでインターハイまでに取り組みたいと思います。インターハイでは、この経験を生かして頑張りたいと思います。ありがとうございました。

今回のベトナム遠征に参加させていただき、日頃はなかなか対戦できない選手と試合をさせていただくことができ、とても良い経験ができました。

団体では、日本チームは2位になることができました。私も何回か起用していただきましたが、勝利してチームに貢献することはできませんでした。試合では、今まで経験したことのないくらい緊張してしまい簡単なミスを繰り返してしまいました。ですが、この経験を今後必ず生かしていきたいと思います。

個人戦では、団体の時よりも自分のプレーはできましたが、やはり格上の選手には勝つことができませんでした。また、日本にはいないような戦型の選手とも試合をすることができ、とても良い経験になりました。私は予選リーグで負けてしまいましたが、決勝まで見ることができ強い選手のプレーから学べたことが多くありました。最後に、このような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

この度は、ベトナム遠征に参加させていただきありがとうございました。昨年に続き2回目の参加となりました。昨年よりも良い結果が出せるようにという気持ちで挑みました。

団体戦では、決勝まで進むことができました。決勝では、私は3番で出場しました。会場には男女決勝用のコートが2台しかなく観客も多かったのも、とても緊張しました。試合は負けましたが、そのような中で試合をすることができとても良い経験になりました。

個人戦では、予選リーグを1位で通過することができましたが、決勝トーナメントは1回戦で負けてしまいました。昨年と同じ結果だったのでとても悔しかったです。

大会に参加して、課題としては、攻撃力の安定性を高めること、相手のゆっくりとしたドライブボールをしっかり見て打ち返すことなどたくさんの課題が見つかりました。また、自分の技術がどれだけ通用するかを知ることができました。学校に帰ったら、今回見つけられた課題に一生懸命取り組みたいと思います。